

第32回 南区会長杯争奪選手権大会
第26回 下京・南支部理事長旗争奪大会
第32回 城南少年野球親睦旗争奪大会

特別規則と注意事項

南区少年野球振興会

1. 選手登録はありません。当日のメンバー表により代用する。
2. ベンチには、当日のメンバー表に記載された選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出さない。
ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
3. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。
《監督は30・コーチは28・29の背番号をつけていること。》
4. 試合時間は、1時間20分とし以降新しいイニングには入らない。《ただし、決勝戦は1時間30分とする》
5. 本大会の試合回数は7回とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。
《ただし、決勝戦は特別ルールにて勝敗が決するまで行う》
【特別ルールは、ワンアウト満塁で、1番バッターからという同一条件にて行う。】
6. 4回10点、5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《但し決勝戦は採用しない》
7. 野手がボールデッドライン付近のフライを捕球後にボールデッドゾーン内に入った場合は、ファウルボールとする
8. 手袋の使用は、打者および投手以外の野手については、これを認める。
9. 投手交代時の投球練習中のダッグアウトを出ての素振りには、次打者にのみこれを認める。
10. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
11. 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
12. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
13. 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合、5回を終了していれば試合成立として終了する。
但し、それ以外の場合は、継続試合として後日改めて行う。
14. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
15. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。《但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ》
16. 球審は、当振興会審判員にて行い、塁審のみ各チームより出す。
《準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも当振興会審判員にて対応する。》
17. 審判の服装は白色の長袖カッターシャツ、紺色又は黒色のズボンを着用し、靴も黒色の物を履くこと。
《担当試合の30分前には、集合すること》
18. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
19. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
20. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
21. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し『太陽の家』の建物へ避難する。
22. その他競技規則は、2019年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。